

# 改題 土楽たより

どうらく

Kogure 農場 5月号 (NO73)

2016年5月10日 (火) 発行 (毎月10日)

## 【農暦】新緑は何しろいい!

○今の時期は本当に緑が美しい。桜も好いがこの新緑は何しろいい。何か新しい開眼があった様な気もする。新緑が愛おしいものを感じる。桜は意識して愛でるが新緑は違うように思う。感じて愛でる。山桜の淡いピンク、新緑の淡い緑に山肌が覆われる。毎日深い緑に少しずつ変わる。いつもの新緑とは別もののような瑞々しいものを感じる。枯渴を始めた心身が無意識のうちに何かを求めているような、そんな気になる。笠間と柏を行き来している時や新緑の中を車で移動している時に、緑一色と声を出したくなることが時々ある。笠間に来た頃の非日常であった自然が今では日常化されてしまっている。非日常が戻ったような感覚である。新緑が例年になく素晴らしく感じる。吾国山の山頂付近のブナの大木の素晴らしい緑が、谷川岳の湯檜曾川の豊かなブナの緑が懐かしく思い出された。

○こんな気分であったこともあり、ウォーキングに五本松公園に行くことにした。いつもは真夏の暑い時期に“涼”を兼ね歩くコースにしているところである。手賀沼に突き出した自然を残したお気に入りの公園である。十数組の若い家族やグループがバーベキューなどを楽しんでいたが、少し中に入ると静寂に囲まれた。高い木立の木漏れ日の中の散策を楽しんだ。歩きながら、そう言えば、谷川岳の最後?の山行が痛風で延期のままであったと思い出した。最近農作業で体力の無さを痛感しており、逡巡の種を増やしてしまった。



<五本松公園>木漏れ日の中を歩く。

5日撮影

○3日は憲法記念日であった。今年は、憲法関連の番組が少ないように感じた。憲法(違憲)論議を避ける政権を意識した自主規制ではないかと心配になる。先月の17日に自民党の調査会が、テレビ朝日とNHKの幹部を呼んで放送内容に関する事情聴取をしている。問題にされたのは、テレ朝の「報道ステーション」と、NHKの「クローズアップ現代」である。キャスターの古舘さんと国谷さんが揃って降板している。更迭ではないと云っているのもそうではないと思うが、自主規制ならなお怖い。高市総務大臣の電波停止発言をはじめ問題発言が続出している中でのことである。報道だけの問題ではないが自主規制が一番怖い。報道自由度72位、ジェンダ格差指数104位で先進国の中だけではなく全体でも最下位に近いところにある。”72位も104位も“外からの見え

たもの（日本）である。報道自由度は民度（民主主義）に深く関わることである。グローバル化がこれだけ進んでいる今、他国のことを云っている場合ではない。井の中の蛙にはなりたくない。せめて先進国並みか近いところにあって欲しい。経済もダメでは救われない。

○日本では、よく「自己責任」と云う。欧米からは違和を感じる日本固有のもので”お上意識“の表れとも謂われる。周りに、直ぐ言う人がいる。発言封じ、批判封じに繋がる。新緑の今、話題にしたくなかったが、つい先日、ある会で異論？に対し高圧的に抑制する発言に接したばかりであったので、怖いし気になった。

○援農して頂いたこともあり、畑の姿が変わった。トマトに続いて、茄子、ピーマン、胡瓜などの植込みをしたいと思っている。欲張りにならないようにするが、良い汗をかきたいと思っている。

### 【楽農】トマトの植込みから！

<畑A>；小松菜、サラダ菜、ブロッコリー、蔓無し隠元、枝豆の播種。トマトの植込み。  
除草の継続、

<ハウス>；トマトの植込み

<畑B>；トラクターで耕運。草払機で除草  
\*アスパラガス、ほうれん草、ネギ、こごみなど  
少量収穫。Iさんの定期的な援農を頂き農作業が大きく進展する多謝多謝。



<ジャガイモ、空豆など>遅い植込みであったが、。4日撮影

### 【楽市】イベント交流・直売など

○その他；TBG 総会（15日）共生つばさの会（20日）山野草の会（22日）ごみを考える会・総会（23日）に参加など。

### 【つぶやき=Tweet】老人が楽しく生きている姿を！

○いつも書きながら思うことがある。暗いネガティブのものになる。介護殺人など悲惨のニュースばかりで、弱者にやさしくない、強者の論理の政権の批判になってしまう。明るいなと思うと下ネタしか思いつかない。開口健、吉行淳之介のようにはいかない。渡辺淳一にもあやかれない。ネタもないし、卑猥そのものになるだけである。今ここに生きている私が感じたことを書き、それを読んで頂き何かを共有出来ればと思うだけである。ポケ防止に書いている部分もあるがここでも共有できるものがあればいいと思う。



<江戸中期の絵師 若冲>

正しく変わらないものはつまらない「奇」の中にこそ味わいがある。と。テレビから4日撮影

○つい先日に悲惨なニュースの再放送を見た。梗概を引用する。“2006年に京都市伏見区で起きた認知症の母殺害事件。承諾殺人罪に問われ、有罪判決を受けた長男（62）が14年8月、大津市の琵琶湖で命を落とした。親族によると、自殺とみられる。確定判決によると、長男は06年2月、伏見区の桂川河川敷で車いすに座る認知症の母親（当時86歳）の首を絞めて殺害した。自らも刃物で首を切り自殺を図ったが、助かった。長男は母親の介護のために会社を辞めて収入が途絶え、デイケアなどの介護費や約3万円のアパートの家賃も払えなくなった。役所に生活保護の相談もしたが断られていた。「もう生きられへん、ここで終わりや」と言う長男に「あかんか。一緒やで」と答える母親。長男の裁判で、検察側は犯行直前の2人のやり取りを明らかにした。被告の心情に寄り添うような検察側の姿勢もあり、事件は大きく報道された。京都地裁は06年7月、長男に懲役2年6月、執行猶予3年（求刑・懲役3年）を言い渡した。裁判官は「裁かれているのは日本の介護制度や行政だ」と長男に同情した。長男も法廷で「母の分まで生きたい」と約束した。”だが生きられなかった。会社はクビになり、預金もなく所持金は数百円だったという。

○安倍首相は外遊で訪問国63カ国（延べ87カ国）それに伴う対外支援6.5兆円に上る。舛添知事の海外出張1回当たり26百万円、合計で2億円超える。湯河原（別荘兼事務所）へ毎週末公用車で往復などの週刊文春の記事を見ると、“ほんの一部でも”と思ってしまう。企業の文化は変わってきているが赤字や経営逼迫ならトップの率先垂範は当然である。貧者は自己責任で、次元が違えば、貧者の身勝手な言い分だと逆に批判され兼ねない。こんな世相を一番恐れる。ちょっとしたボタンの掛け違いで破産や漂流老人になる。もし自分がボケたら、重い病に倒れたらと思っただけで怖い。

○テレビの達人達で日野原さんや篠田さんが若者に老人が楽しく生きている姿を見せなくてはなどと言われていたが、そうありたいとは思いますがハードルは高い。経済的余裕は必修に近い。アメリカの大統領指名争いでは共和党のトランプさんがほぼ勝利、民主党ではヒラリーさんが苦戦している。弱者の支持の影響が大きいという。

【後記】新緑が眩しい。笠間に、kogure農場にお越し下さい。HPに転載しています。

【特に編集せずランダムな構成にします】



＜若冲の群鶏図の一部＞生誕300年記念の美術館展示、特集雑誌、テレビ番組が、..雑誌から6日撮影

発行者；Kogure農場・小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

メール；[torao-k@nifty.com](mailto:torao-k@nifty.com)

HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>